

加東市まちづくり活動費補助金を活用した

まちづくり活動成果集

〔令和元年度〕



加東市マスコット 加東伝の助

加東市 市民協働部 人権協働課

はじめに

まちづくりには、その主役となる「ひと」、ひとが営む日々の「くらし」、そして、「ひと」や「くらし」のステージとなる「まち」が重要な要素になります。

将来にわたって活力あるまちにしていくためには、まちづくりの主役となる「ひと」が、ふるさと加東への愛着や誇りとともに、夢や希望をもって、それぞれの個性を活かしながら活躍し、そして、地域と共に元気であり続けることが重要です。

加東市では、市民の皆さまが取り組まれるまちづくり活動に対して「まちづくり活動費補助金」を交付し、その活動を支援しています。この冊子は、令和元年度にこの補助金を活用された団体の活動をまとめたものです。それぞれの団体のまちづくり活動への思いやその取組、活動を通して見えてくる課題などから、協働のまちづくりの大切さを認識していただき、市民や地域、行政などのそれぞれの役割について考えるきっかけにいただければ幸いです。

目 次

【一般コース】

- ・健康麻雀ひろめ隊 1
- ・コスモス加東少年少女合唱団 2

【スタート応援コース】

- ・けんこう笑会 3
- ・NPO 法人パイフワード 4
- ・fの会 5
- ・ふまねっとカフェ小島 6
- ・女性のための実践会議 -OHIRUMA- 8
- ・うれしの和太鼓倶楽部 10
- ・藪地域活性化プロジェクト 12

【テーマ解決コース】

- ・ソングラウン実行委員会 13
- ・三草ふれあい広場 14
- ・加東市パークゴルフを広め隊 16
- ・鴨川地域に人を呼び込み隊 17
- ・加古川流域の魅力を広め隊 18
- ・社のおにわ亭実行委員会 19
- ・加東市商工会女性部 20
- ・社高等学校生活科学科2年 22
- ・社高等学校生活科学科3年 23
- ・オイコスジャパン環境ベネフィット研究所 24
- ・千燈会実行委員会 25

(参考) 令和元年度加東市まちづくり活動費補助金(応募活動分)募集要領

団 体 名	健康麻雀ひろめ隊
代表者氏名	長谷川 和代
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 シニア世代の女性が集まり、『賭けない・飲まない・吸わない』が合言葉の健康麻雀と交流会 <u>1. 内 容</u> 毎週火曜日に活動 ストレッチ体操・指の運動、脳トレ、4人一組の健康麻雀 3時にお茶タイム、1時間後ごとにストレッチ <u>2. 目 的</u> 脳トレ・認知症予防・コミュニケーション・健康長寿 <u>3. 場 所</u> 社公民館 視聴覚室 <u>4. 期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月31日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 述べ人数 1, 121人
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> 毎回くじびきで4人の卓メンバーを決め、コミュニケーションがとれ、参加者同士仲良くなった。 参加者みんなが笑顔になり、生活の中で楽しみの一つとなった。 <u>2. 今後の取り組み予定（活動の展開やメンバー、活動資金についてなど）</u> 今後も続けて輪を広げ、メンバーを増やしていきたい。 ミーティング茶話会を設け、コミュニケーションを深めたい。 

団 体 名	コスモス加東少年少女合唱団
代表者氏名	原 弥生
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 第14回コスモス加東少年少女合唱団 定期演奏会 <u>1. 内 容</u> 合唱と地域の吹奏楽団との合同演奏会 <u>2. 目 的</u> 1年間の活動の成果発表 地域の音楽愛好家との交流 坂本遼作品の発表 <u>3. 場 所</u> 東条文化会館 <u>4. 期 間</u> 令和2年1月26日～令和2年3月22日 ※3月22日に予定していた定期演奏会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 合同合唱参加者 31人（市内小学生等） 参加吹奏楽団 2団体 約60人（東条中学校吹奏楽部、社吹奏楽団）
	<u>1. 活動により生まれた効果</u> 加東市の詩人 坂本遼の作品の中に東条東・東条西各小学校の校歌があります。小中一貫校となることにより、校歌も消えていくこととなりますが、坂本遼の大事な作品として、子どもたちの心に残していきたいと考え、活動を企画しました。 1月26日、2月16日と2回の合同練習で、今回、合唱参加を募ったメンバー31人と合唱団員との交流を通じて、改めて坂本遼を知ることができました。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、3回目の合同練習（3月1日）の中止と本番の定期演奏会は4月26日に延期することを決定しました。小学生等の活動ができ、ホールも使用できれば、定期演奏会を開催したいと考えています。自粛ということになれば、団員と保護者のみで1年間の成果発表として開催したいと考えています。 今後も合唱を通して、小学生から大学生までの仲間づくりと、美しいハーモニーを目指したいと考えています。



団 体 名	けんこう笑会
代表者氏名	大久保 武
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 手品の披露や指導を通じ、ふれあいの場を広げる <u>1. 内 容</u> ・ 定例会、手品やクイズの習得 ・ 介護施設やこども園への訪問 ・ 各地区の行事に参加 <u>2. 目 的</u> 介護施設の入所者の方には、生きがいと元気をもってもらい、子どもたちには、楽しさとやりがいを与える。 <u>3. 場 所</u> 加東市民病院、伽の里、ケアホームかとう、マイハウスみのり、はびねす滝野、サンスマイル北野、東条デイサービスセンター、ラポートやしろ、とどろき荘、河高こども園、河高コスモス祭り <u>4. 期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月31日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 病院・福祉施設等 延べ200人以上、河高こども園25人、河高コスモス祭り 多数
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・ 訪問先の施設等の方から、他の施設を紹介していただいたり、チラシを配布したりして活動の場が増えた。 ・ 新しい手品の道具が増え、メンバーの技術も向上した。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> ・ 演技の種類を増やし、技術の向上を目指す。 ・ 活動範囲を拡大する。 ・ 今後も活動を継続するために、活動資金の確保について模索する。 

団 体 名	NPO法人ペイフォワード
代表者氏名	日下 伸一
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 子ども食堂 <u>1. 内 容</u> 子ども食堂の運営（食事の提供、学習支援） 毎週土曜日の17時から開設 <u>2. 目 的</u> 子どもたちの居場所づくり <u>3. 場 所</u> 社福祉センター <u>4. 期 間</u> 令和元年6月1日～令和2年2月29日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 参加人数 延べ907人 ボランティア 延べ726人 （開催日数45日）
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・子どもたち、保護者、地域の方々のコミュニティの場として機能できた。 ・支援の輪が広がった。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> お誕生日会（毎月1回）、クリスマス会、もちつき大会、豆まき、社高校メニュー（毎月1回）など、多数のイベントを開催する。

団 体 名	f の会
代表者氏名	秋田 陽子
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 学校に行きにくいなど、いきづらさを感じ、悩みを抱えている子どもを持つ親の会 <u>1. 内 容</u> 子どものことで抱えている問題などを話しながら保護者同士の情報交換、交流、講座やワークショップを行う。 <u>2. 目 的</u> どんなことでも話せる場所として提供し、悩みの共有・共感をし合い、自己を見つめ直し、自分らしい生き方を学びつつ、少しでも気持ちが明るくなるようにする。 <u>3. 場 所</u> やしろショッピングパーク Bio 2 階多目的ホール、やしろの森公園 <u>4. 期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月27日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 72人
	活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み

団 体 名	ふまねっとカフェ小島
代表者氏名	北吉 英俊
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 楽しく身体を動かし、大きな声で笑って笑顔でつながる ふまねっとカフェ小島 <u>1. 内 容</u> 転倒予防と認知症予防が期待できるふまねっと運動の実施を通して、地域住民の健康や住民同士の集いや交流の場づくり ・ふまねっとカフェ〔月2回（第1・第3土曜日）10：00～12：00〕 ふまねっと運動（1時間20分）、茶話会（1時間） ・体力測定会〔令和元年11月26日 10：00～11：30〕 ふまねっと運動開始時のTUG測定に加えて、握力・平衡性（開眼片足立ち）・歩行機能（5m通常歩行）・柔軟性（長座位前屈）測定の実施 ・ふまねっと運動継続激励パーティー〔令和元年11月26日 11：30～14：00〕 体力測定の結果確認と今後の継続へ向けて ・「ふまねっと運動で健康長寿をめざして」講演会〔令和元年11月26日 10：30～12：00〕 講師 健康運動指導士 角井 俊之 氏 <u>2. 目 的</u> ・地域住民がふまねっと運動を通して、介護予防（転倒予防・認知症予防）ができ、身体機能の維持・向上を目指した運動の場の提供 ・地域住民の孤立や引きこもりを予防し、住民同士のつながりや楽しく交流ができる集いの場の提供 ・ふまねっと運動のサポーターやインストラクター・高齢者を支える地域住民のボランティア活動の場の提供 <u>3. 場 所</u> ハートフル・デイサービス小島 デイサービスホール（加東市屋度 736-262） <u>4. 期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月31日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 平成31年4月6日～令和2年2月15日（計20回）開催 （※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止） 参加者 延べ268人 ふまねっと運動インストラクター・サポーター 延べ90人

1. 活動により生まれた効果

＜「参加者の声」より＞

- ・ふまねっとをするようになってから、しっかりと足を上げて歩くようになり、すり足がなおって躓かないようになった。
- ・歩く時に転倒する不安が減り、しっかりと歩けるようになってうれしい。
- ・みんなと集まるところがあって楽しい。認知症予防になって良い。
- ・出かけるところがなくつまらなかったけれど、ふまねっとに参加するようになり、みんなと運動しておしゃべりをするのが楽しみになっている。ふまねっとカフェがあってよかった。

2. 今後の取り組み予定

- ・ふまねっとカフェへの参加希望者は多くあるものの、ほとんどの方々には会場までの移動手段がなく、主催者側での送迎をしなければならない。現在の送迎支援者の毎回の調整は困難となっており、現在の参加者が歩行等で参加しやすい会場への場所変更を検討するか、他の移動手段の検討を行う必要がある。
- ・現在の参加費の金額変更の検討
インストラクター、サポーターを有償ボランティアとしての金額と、送迎費用を含む参加費の検討。



団 体 名	女性のための実践会議 -OHIRUMA-
代表者氏名	植田 真由子
活 動 内 容	活動テーマ 女性事業者による女性事業者のための勉強・情報交換活動 1. <u>内 容</u> 女性経営セミナー、女性経営カフェ、ランチ会 ① 4月27日：セミナー「ブログでつくるわたしブランド」（講師：内橋麻衣子氏） ② 6月21日：ランチ会 ③ 7月28日：女性経営カフェ（講師：藤井佳代氏） ④ 12月21日：セミナー「自分でできるホームページ作成講座①」 ⑤ 1月19日：セミナー「自分でできるホームページ作成講座②」 ⑥ 2月23日：セミナー「自分でできるホームページ作成講座③」 （3月に予定していた女性経営カフェは新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 2. <u>目 的</u> 女性経営者が経営のスキルアップやコミュニティに参加したくても、一般の経営者団体の集まりが夜を中心に開催され、家事や育児でなかなか参加できない現状がある。 女性経営者の多くは家事や育児で事業に使える時間も限られるため、事業規模は小さくなりがちであり、スキルアップ等につけられる資金が小さい傾向がある。 上記事情を踏まえ、女性が参加しやすくスキルアップできる機会を設け、女性経営者の経営力強化をめざし、地域経済の活性化を図る。 3. <u>場 所</u> 女性経営セミナー・女性経営カフェ：主に加東市商工会 ランチ会：近隣自治体の飲食店 4. <u>期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月31日 5. <u>参加者数（来場者数）</u> ① 4月27日：6人 ② 6月21日：2人 ③ 7月28日：12人 ④ 12月21日：4人 ⑤ 1月19日：3人 ⑥ 2月23日：4人

1. 活動により生まれた効果

昨年度講師をしていただいた女性経営者と参加者がつながり、法人設立についての相談をしたことで、今年度、その参加者が法人設立を果たすなど、女性経営者の事業の活性化に貢献している。

ホームページ作成講座では、実際に参加者がホームページを作成し、女性経営者の事業の広報の強化に貢献した。

4月のセミナーでは、参加者から、「知りたかったブランディングについて勉強することができた」との感想が得られ、実際にブログを更新するなどの効果が見られた。

7月の女性経営カフェでは、「講演を聞いたことで自分の事業と向き合う勇気が出た」、「心に響いて今後の自分の事業も大事にしたい」との感想が得られ、女性経営者の経営に対するモチベーションの向上に貢献できた。

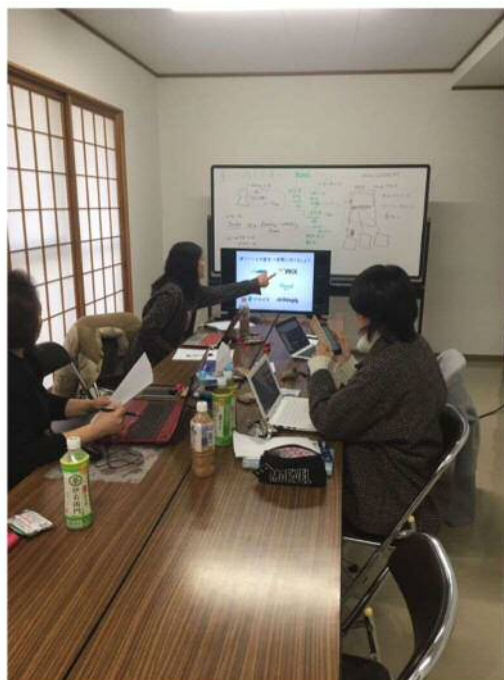
2. 今後の取り組み予定

①活動について

- ・ランチ会は参加者が減少したため開催を取り止め、女性経営セミナー、女性経営カフェは回数を減らすことを検討する。
- ・より参加者を促進するために、オンライン等のツールを利用した活動を検討する。モチベーションの向上や、なかなか外に出にくい女性経営者の参加促進を促せるようなコミュニティをオンライン上でつくり、事業を活性化させるための仕組みを作っていく。

②活動資金について

- ・セミナーの参加費を徴収することを検討する。
- ・女性経営セミナー等、イベントごとに参加者を募る形式と、会員として登録制にし、会員限定のサービスを提供することで会費を徴収する形を検討する。



団 体 名	うれしの和太鼓倶楽部
代表者氏名	丸山 滋美
活 動 内 容	<u>活動テーマ・行事名</u> うれしの学園生涯大学に在籍している学生、既に卒業した同窓生で構成し、高齢者の生きがいの一環として和太鼓を楽しみ、いろいろなイベントや介護施設の催しで演奏し、地域住民に文化、伝統芸能の魅力を発信・伝承する目的で、令和元年5月10日に設立。 <u>1. 内 容</u> 和太鼓チーム水龍会の和太鼓を使用させていただき、月2回練習。 令和元年10月には、加東市秋のフェスティバル、11月には兵庫教育大学の嬉望祭に参加。嬉望祭では、演奏後に学生による和太鼓練習を実施し、若い世代にも興味深い体験をしてもらえたと思います。 <u>2. 目 的</u> 部員の平均年齢は概ね70歳で、高齢者の生きがいの一環、また高齢者の健康年齢を引き上げる目的もあります。また、県下に趣味での和太鼓倶楽部は30～50歳代の方を中心にたくさんあると聞いてはいますが、我々の目的は趣味のみではない健康クラブとして位置づけており、さらに、地域住民に文化、伝統芸能の魅力を発信・伝承する目的もあります。 <u>3. 場 所</u> 練習：さんあいセンター多目的室 <u>4. 期 間</u> 令和元年5月10日～令和2年2月14日 イベント参加：令和元年10月27日、11月9日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 延べ約350～400人（イベント2会場の来場者は150～200人）

活動の
効果・
今後の
取り組み

活動により生まれた効果

当初、周りから「平均年齢70歳の高齢者には和太鼓演奏は無理だろう」との意見が多くありました。確かに、当初は正確なリズムや強弱をつけた演奏、また演奏中に行うパフォーマンスでなかなか皆と合わせられない人が多く、心配でした。ところが、時間が経つと、予想以上にチームの和も生まれ、年齢を感じさせないほどにメキメキ上達され、部員の皆さんに「やればできる」という自信が芽生えてきたと感じました。

今後の取り組み予定

今後は演奏曲の難易度も徐々に上げながら、和太鼓だけでなく、篠笛の演奏も加え、秋のフェスティバルや学園祭以外に、高齢者の介護施設でのイベントや自治会の秋祭りや夏祭りにも積極的に参加を考えています。また、単に演奏を披露するだけではなく、来場者（見学者）の方にも和太鼓を叩く経験の場を与えていき、伝統芸能を広く浸透していく役割も担っていきたいと考えています。



団 体 名	藪地域活性化プロジェクト
代表者氏名	坂本 千里
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 地域活性化及び地域内外交流・地域 ICT 化計画達成に向けたパソコン教室 <u>1. 内 容</u> パソコン・タブレット・スマホ教室（初心者クラスから中級者クラスまで） ・パソコンの基礎学習から地域における事務処理までできるようにする ・インターネットでの検索等の操作についても学ぶ 開催日：月2回程度（個人学習は別途） <u>2. 目 的</u> 地区役員の中でパソコン等が使いこなせていませんでしたが、1年間取り組んだ結果、ワードやエクセルが使えるようになりました。今年度はスキルアップを図ります。 <u>3. 場 所</u> 藪公民館 <u>4. 期 間</u> 令和元年6月1日～令和2年3月30日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 延べ約160人 
	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・参加者一同が頑張った結果、ガラケーからスマホへ乗り換えることができました。 ・パソコンに触れるメンバーが増え、各自で予習・復習ができるようになってきており、パソコンの扱いがスムーズになりました。特に、地区役員の各部門の連絡・案内等の事務作業や初集会等の資料作成では非常に役立ちました。連絡体制もスマホのLINEで行うことによってスムーズに伝わるようになり、既読機能で各々の把握状況もわかるようになったのが大きな成果といえます。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 今後もパソコン教室を定期的で開催し、講師となるメンバーを増やして、地域の活性化や他地域の方々にも声掛けをして交流を深めて地域活性化につなげます。

団 体 名	ソングラン実行委員会
代表者氏名	黒田 正憲
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 KATOソングラン（お水かけまつり） <u>1. 内 容</u> 社中央公園ステラパークでお水かけまつり <u>2. 目 的</u> ・他地域住民との交流 ・こども達の活性化 ・演奏者とのふれあい <u>3. 場 所</u> 社中央公園ステラパーク <u>4. 期 間</u> 令和元年6月1日～令和元年12月31日 （イベント開催日：令和元年8月10日） <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 217人
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> 市外から104人の方が来場してくださった。遠くは神奈川県、愛知県の方もおられ、近隣市だけでなく、他県からもお越しいただけるイベントになりました。ワタナベフラワー様も、演奏だけでなく、子どもたちと水を掛け合ってください、笑顔あふれる夏の1日になりました。 ある子ども（姉弟）から、「来年はいつなん？」と聞かれ、「開催ができるように頑張るからね！」と返事をしました。参加してくれた子どもたちの笑顔は何よりも準備運営の疲れをとってくれる即効薬でした。 ・その他にも、親御様から「この日に合わせて帰省してきました。準備お疲れ様です。」とお礼を言われたことも励みになりました。多くの他市、他県の方との交流が図れました。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 令和2年も開催を模索中ではありますが、ほとんどの収入源を補助金のみに頼っているため、毎年10万円以上の負担は大きく、出店者を募集する、別イベントとコラボするなど、他の収入源を考慮していきます。



団 体 名	三草ふれあい広場
代表者氏名	長谷川 豊
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 海のまち山のまち交流事業として3つの事業を実施 <u>1. 内 容</u> ① 海で遊ぼう！in 江井島海岸、明石天文科学館見学 海岸のゴミ拾い、海での安全な遊び方・泳ぎ方指導、生き物観察、交流会など ② グラウンドゴルフ大会と加東市巡り 2班に分かれてグラウンドゴルフ大会と加東市巡りをした後、道の駅とうじょうで合流し、闘竜灘を見学 1班：恒例のグラウンドゴルフ大会 2班：西脇市日本のへそ公園、上三草武家屋敷・東経135度標柱など加東市巡り ③ 江井島スポーツフェスティバルに模擬店出店 上三草住民手作りの巻き寿司などの販売を行い、加東市のPRと地域間交流をした。 <u>2. 目 的</u> ① 子どもたちが海での安全についての知識を身につけるほか、生き物観察などを通じて海に親しみ、関心を持つ。明石市とは東経135度線つながりであり、天文にも関心を持つ。 ② グラウンドゴルフと加東市巡りを通じ、明石市江井島まちづくり協議会と交流を深める。 ③ 都市部でのイベントでの交流とともに加東市のPRを行う。 <u>3. 場 所</u> ① 明石市江井島海岸、明石市立少年自然の家、明石天文科学館 ② 鴨川の郷グラウンドゴルフコース、上三草武家屋敷、東経135度標柱、東条湖遊覧、アクア東条、道の駅とうじょう、闘竜灘 ③ 江井島小学校グラウンド（明石市大久保町西島） <u>4. 期 間</u> ① 令和元年9月1日（日） ② 令和元年11月18日（月） ③ 令和元年11月2日（土） <u>5. 参加者数（来場者数）</u> ① 123人 ② 48人 ③ 約1,500人



1. 活動により生まれた効果

- ① 海で遊ぼう！in 江井島海岸、明石天文科学館見学
 - ・三草ふれあい広場からは35人の参加で交流を深めることができた。
 - ・清掃活動の大切さ、海の恵み、海の豊かさを感じることができた。
 - ・ライフジャケットを着た状態で泳ぎ方、救助の待ち方を知ることができた。
 - ・江井島地域の方々と一緒に活動し、加東市のPRの場も設けていただき、加東市をより身近に感じてもらった。
 - ・天文にも関心、興味を持つことができた。
- ② グラウンドゴルフ大会と加東市巡り
 - ・恒例のグラウンドゴルフ大会を継続して開催することにより、さらに交流が深まった。
 - ・この活動により、交流とともに地域の歴史的社会的資源の魅力を知ってもらえた。
- ③ 江井島スポーツフェスティバルに模擬店出店
 - ・上三草住民手作りの巻き寿司は大変好評で、早々に売り切れた。加東市の安心安全な食品がPRできている。

2. 今後の取り組み予定

海のまち山のまち交流事業として今後も交流を深めていく。

- ① 海で遊ぼう！in 江井島海岸、明石天文科学館見学
 - ・今後も参加し、山の子どもたちに安全に海の体験をさせていきたい。
 - ・移動に自動車借り上げ費用が必要であり、資金調達が課題である。
- ② グラウンドゴルフ大会と加東市巡り
 - ・多くの人数が参加できる事業であり、交流の効果は大きい。
 - ・移動に自動車借り上げ費用が必要であり、資金調達が課題である。
- ③ 江井島スポーツフェスティバルに模擬店出店
 - ・多くの人が参加できる事業であり、PRの効果は大きい。
 - ・マルシェ開設の声もあり、検討していきたい。

団 体 名	加東市パークゴルフを広め隊
代表者氏名	澤野 祥二
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 パークゴルフ「ひょうご加東市オープン」の開催と市内観光 <u>1. 内 容</u> パークゴルフ大会の開催 開催日時：令和2年2月19日(水)・27日(木) 10時～12時 パークゴルフ大会と観光を組み合わせたスポーツツーリズムの研究 午前にパークゴルフ大会、午後に市内で食事、観光地を巡るモデルコースを考える検討会を開催 <u>2. 目 的</u> 夕日ヶ丘パークゴルフ場は、2コース18ホールの本格的なパークゴルフコースです。競技としてのパークゴルフとパークゴルフ場の知名度をアップさせ、パークゴルフと周辺の観光を組み合わせた集客を図ることを目的としています。 加えて、この大会開催を契機に兵庫県で2例目の公認コースの認定を目指します。 <u>3. 場 所</u> 加東市滝野総合公園 夕日ヶ丘公園パークゴルフ場 <u>4. 期 間</u> 令和元年10月1日～令和2年3月10日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> パークゴルフ大会参加者 45人 
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> パークゴルフ大会の開催により当施設の利用が増加した。 この大会及び新聞広告、パンフレットなどを通じてパークゴルフの魅力を伝えるとともに、会場となった夕日ヶ丘公園パークゴルフ場のPRが図れた。 スポーツツーリズムの基本計画では、「スポーツと観光の垣根を超えて市や各種団体と連携・協働し、大会・合宿招致などを観光まちづくりの一環として政策に位置付ける必要がある」とされている。この実現に向けての取組が開始できた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 令和2年度以降も「パークゴルフ大会」の開催を予定しており、大会を継続することで、「加東市と言えばパークゴルフ」というイメージを確立・定着させたい。パークゴルフを核としたスポーツツーリズムを完成させ、加東市への観光客や訪問客の誘致により、交流人口の増加を図りたい。

団 体 名	鴨川地域に人を呼び込み隊
代表者氏名	吉田 正
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 鴨川地域への観光客等の集客と加東市知名度アップ事業 <u>1. 内 容</u> 加東市の歴史遺産「播州清水寺」（鴨川地域）の「大紅葉まつり」（11月1日～30日に開催）に合わせて観光バスツアーを実施した。 夜のツアー：11月22日(金) 昼のツアー：11月26日(水) <u>2. 目 的</u> 鴨川地域の名所や歴史的遺産の魅力を発信し、市外（主に京阪神・播磨臨海・姫路・西播磨）からの集客を図る。 新聞広告により加東市、鴨川地域の知名度を向上させる。 <u>3. 場 所</u> 播州清水寺・やしろ鴨川の郷・東条湖・鴨川ダム・道の駅とうじょう・国宝朝光寺 その他 <u>4. 期 間</u> 令和元年10月1日～令和2年2月29日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> ツアー参加者 60人 
活 動 の 効 果 今 後 の 取 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> 鴨川地域を訪れる方の増加については、一つの参考として播州清水寺の参拝数の推移を聞いてみた。10年前の平成21年から年間5%程度の減少が進む中、この事業を始めてから前年対比35%の増加となっている。このことは、さまざまな積極的な集客事業の取組の成果が表れての数字ではあるが、この活動もそのうちの一部を担っている。 「ツアーには参加できなかったが、新聞広告と同じコースをマイカーで回ってきた」との報告も受けているところである。 ・ また、このツアーに参加した方が、後日開催された他の加東市へのツアーに参加していただいた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 前年度からの取組であり反省点も多くあったが、何もしなければ集客も知名度のアップも期待できない。失敗を恐れず、今後もさまざまな工夫を凝らして集客支援事業を行い、地域の活性化に取り組んでいきたいと考えている。

団 体 名	加古川流域の魅力を広め隊
代表者氏名	長谷川 妙子
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 内から外から 加東市ファンを増やそう大作戦 <u>1. 内 容</u> 加東市の魅力を伝える講演会及び現地視察を行いました。(加古川舟運の歴史、JR加古川線の歴史、加古川流域滝野歴史民俗資料館) 昼食は季節の子持ち鮎(落ち鮎)料理、道の駅とうじょうで地域の特産品販売、地域の史跡や旧跡として国宝朝光寺の観光、季節の柿狩りを体験いただきました。 <u>2. 目 的</u> 市内や近隣の方々はもちろん、京阪神地域から観光(観る、食べる、買う)にお越しいただき「加東市」の魅力を伝えます。 <u>3. 場 所</u> 料理旅館「滝寺荘」(講演会場、昼食)、加古川流域滝野歴史民俗資料館、国宝「朝光寺」、道の駅とうじょう(地域特産品販売)、滝野農園(柿狩り) <u>4. 期 間</u> 令和元年10月1日～令和2年2月29日 <u>5. 参加者数(来場者数)</u> ツアー参加者 39人
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> 京阪神からお越しいただいた多くの方に加東市のファンになっていただきました。 この後に開催した加東市へのツアーにリピート参加をいただいています。(播州清水寺へのツアーや定住自立圏事業によるツアーなど) 加えて、新聞広告により加東市の魅力を伝え、知名度アップが図れました。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 地域の歴史と観光を組み合わせ京阪神を中心に集客を図ったものである。 加古川舟運は、高砂で日本遺産に指定された北前船とつながります。 また、流域に残る伝統芸能の「獅子舞」や「馬鹿音頭」は、遠く下関や瀬戸内がルーツとも考えられています。このような材料を使ってイベント開催など集客や地域の活性化に取り組んでいきたいとも考えているところです。



団 体 名	社のおにわ亭実行委員会
代表者氏名	小紫 吉猛
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 空き家を活用したまちを活性化する拠点づくり <u>1. 内 容</u> 社地区の商店街の空き店舗や空き家を活用して、町の活性化をするための拠点づくりを目指す。 <u>2. 目 的</u> 社地区の商店街は、空き店舗や空き家が急増しています。そこで、空き家を活用して継続して町の活性化をするための拠点づくりを目指すために「社のおにわ亭実行委員会」を立ち上げて先進地の事例を学びながら、実行委員会の組織を確立していく。 <u>3. 場 所</u> 社地区の空き家、空き店舗 <u>4. 期 間</u> 平成31年4月9日～令和2年3月9日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 実行委員 17人 一般来場者 約350人（第4回おにわ亭）、約400人（第5回おにわ亭）
	
	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・先進地である丹波市柏原町の視察を通して、まちの活性化を図るためには拠点が必要であることや、毎月継続的に行事（マルシェ）を行うためには運営主体がないと無理なことを実感した。 ・佐伯講師の空き家活用の実践事例を聴いて運営主体の重要性を痛感した。 ・中脇講師のコーディネートにより実行委員会主体で「社のおにわ亭」（イベント）を運営できるようになってきた。 ・「社のおにわ亭」の実施により、上月亭を継続的に使用することに理解を得られた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> ・実行委員の中から5人のメンバーが、空き家（上月亭）を活用してまちの拠点づくりを目指すために大家さんである上月氏と意見交換を行った。 ・今後の活用方法について計画を立て、具体的な協議をしていく予定である。 ・資金面では、兵庫県の補助金や投資を募り、改修工事を行って、レンタルオフィスやレンタルスペースを設けることで収入を図り、収支計画を作成して具現化していく。

団 体 名	加東市商工会女性部	
代表者氏名	上月 尚子	
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 加東市商工会女性部のシュエットゼミ	
	1. 内 容	
	「お客様」「お店」「地域」が得する講座を、加東市商工会女性部部員が講師となり、「シュエットゼミ」と題して、女性部員によるまちのゼミを開催した。	
	開催日	事業所
	6/28	加東市商工会女性部
	8/25	フラワーサロン夢のかたち
	9/16	(有)エムアンドワイオートジャパン
	9/16	ファミリーマート加東社店
	9/18、10/16、 11/20、12/18	(株)わかば教育セミナー
	9/25	ラ・ルーチェ
	9/25	H R N (夢のかたち)
	10/8	おかたづけのトータルサポート
10/19	(株)フクハラ	
10/25	ピロトレ教室 和楽美(わらび)	
10/26随時	メナードフェイシャルサロンふわり	
内 容		
2. 目 的		
加東市内のお店や人の存在・特徴を知っていただくと共に、商店主が講師となって、専門知識やプロならではのコツを提供する少人数制のゼミで、この機会に普段行くことない店舗や事業所を知っていただき利用していただくことで、加東市の経済の活性化を目的とする。		
3. 場 所		
加東市商工会館、各事業所、やしろショッピングパークB i o、りりふる、加東市秋のフェスティバル会場		
4. 期 間		
令和元年8月25日～令和元年12月18日		
5. 参加者数（来場者数）		
122人		

1. 活動により生まれた効果

参加された方からは、「市内には、まだまだ知らないお店や事業所があり、楽しい体験ができてよかった。」「また参加したい。」という声があり、参加した女性部員からは、「お客様とより近くでコミュニケーションが取れ、お店を知ってもらうことができ、新しいお客様ができた。」「新規顧客の開拓につながった。」という声があり、事業所のモチベーションも上がり、女性部の活動の活性化にもつながった。

2. 今後の取り組み予定

今回の取組は、女性部での大変好評であったため、来年度も実施したいという声が多い。今回は女性部の若年層を中心に事業を実施したが、次回は年齢を制限せずに開催する。より多くの知識や情報・コツをお客様にお伝えし、店主や参加者の交流通じて「お客様」「お店」「地域」が得するセミナーを開催して、将来へのお客様づくりと女性部事業を通じて加東市の活性化を目指す。



団 体 名	社高等学校生活科学科2年
代表者氏名	富澤 廣平
活動内容	活動テーマ・行事名 食からつながる地域 <u>1. 内 容</u> 地域経済分析システムRESASを使用して加東市の現状分析を行い、交流人口増加に向け、「食」を活用した地域活性化活動を模索する。また、加東市内外の方を対象とした地域の名所を生かしたPR活動を行い、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指す。 <u>2. 目 的</u> 加東市や北播磨地域のPR活動を兼ねた活動を実施し、より多くの場所、多くの方に加東市のよさを広め、交流人口の増加へつなげる。 <u>3. 場 所</u> 県立社高等学校、カルメニ神戸 加東市内各所（播州清水寺、やしろショッピングパーク Bio、酒米研究交流館、神結酒造、東条湖、鴨川ダム、道の駅とうじょう） <u>4. 期 間</u> 平成31年4月1日～令和2年3月31日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 加東市の魅力発信バスツアー 27人 神戸和菓子まつり 1,000人
活動の効果・今後の取り組み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・昨年度、3年生が実施した加東市の魅力を発信するバスツアーを、リニューアルして企画・運営した。特に今年度は、東条川疏水の恵みによって栽培されている山田錦をはじめとした農作物に着目したツアーを考えた。 ・神戸市在住の方をはじめ加東市に来たことがない人たちに加東市を体験していただけた。バスツアーの応募状況やアンケート結果から、加東市の魅力を伝えるツアーに対する需要はあると考えられる。 ・疏水という日常生活に欠かすことのできないテーマでありながら、私たち自身が知らなかったことが多く、認識を改めることができた。 ・地域活動を通して生まれたつながりや、多くの方の支えのおかげで実現することができ、「つながり」が地域を作り上げていくのだと実証することができた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 今年度のバスツアーの内容を振り返り、来年度は改めて地域の課題を分析した上で活動を行っていく。東条川疏水の恵みを受けた山田錦をはじめとする農作物や特産品の魅力を、より魅力的に伝えていけるような地域活性化案を実施していきたい。

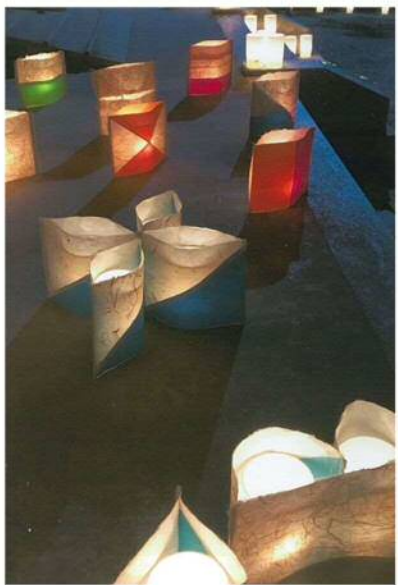


団 体 名	社高等学校生活科学科3年
代表者氏名	富澤 廣平
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 特産品開発からつなげる地方創生 <u>1. 内 容</u> 加東市とつながりのある団体との交流活動を通して、加東市の特産品を使用した新しい商品開発を試みる。また、周辺地域と連携した地域活性化活動をする中、開発商品を活用したPR活動を通して加東市内への交流人口の増加につなげる。 <u>2. 目 的</u> 加東市内だけでなく、北播磨地域5市1町での販売活動を通じたPR活動を行い、加東市から北播磨全体の交流人口増加につなげる。 <u>3. 場 所</u> 県立社高等学校、ふれすこ社店、やしろショッピングパーク Bio、イオン社店、そごう三宮店、カルメニ神戸、三木総合防災公園 <u>4. 期 間</u> 平成31年4月～令和2年3月 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> ドレッシング試食会 200人 北播磨「農」と「食」の祭典 57,000人 高校生チャレンジショップ Seica 200人
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・加東市の特産品である「やしろの桃」と「三草茶」を使ったドレッシング開発を行い、特産品の新たな活用法を見出した。 ・北播磨5市1町の高校と連携して北播磨5市1町特産品ピザを開発した。加東市内だけでなく、北播磨地域を巻き込んだ地域活性化に取り組むことができた。 ・三草小学校との連携を通して、三草茶を使った新しいスイーツの開発ができた。三草小学校5年生のみなさんに、特産品を使って商品を開発することの楽しさや難しさ、協力して一つのものを作り上げる喜びを感じてもらえた。 ・地域経済分析システムRESASを使って加東市の課題を発見し、その課題を分析・解決するための政策アイデアを考案し、株式会社マルヤナギ小倉屋と連携してもち麦スープを開発した。また、この政策アイデアを内閣府が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募し、優秀賞を受賞することができた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 3年生は卒業してしまうが、地方創生班の活動は次の世代へ引き継がれていく。今後も加東市の魅力を発信する活動を続けていく中で、新たな地域創生案を提案していく予定である。



団 体 名	オイコスジャパン環境ベネフィット研究所
代表者氏名	林 弘行
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 『誰一人取り残さない!』 ～2030SDGs カードゲームで学ぶ持続可能な社会づくりとジェンダー平等～ <u>1. 内 容</u> 「特別にいいこと」をしようとしなくても普通に「よくないことを減らしていく」。 そんな社会を作るのは、私たち一人一人のちょっとした行動だと参加者全員で感じとってもらおう。2030年を目標としたゲーム体験を通して、人と人のつながりを大切にし、未来はどんな社会になっていたらいいのか、身近なことから何ができるかを考え、行動に移し、男女性別にとらわれず、得意なことを重視し、みんながハッピーな2030年を作るために動き出すきっかけを作ります。 <u>2. 目 的</u> SDGs の5 番の目標である、誰もが性別にかかわらず平等に機会を与えられる「ジェンダー平等な社会」を目指す。 <u>3. 場 所</u> やしろ国際学習塾 3階 第二会議室 他 <u>4. 期 間</u> 令和元年7月1日～令和2年1月23日 <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 15人
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ワークショップ終了後のアンケートによると 「自分でできること、小さなことから始められるので何か1つでも始められたらいいと思う。」「同じワークをしても出てくるイメージが人によって違う、それがいいと思う、それがジェンダー問題の解決の糸口となってくれると思う。」「答えのない課題のような気がするが、考えるきっかけができて大変良かった。」 といった、意見が見られた。 参加してくださった皆さんが立ち止まって、性別に基づいて社会的に要求される役割等の社会的性差について「桃太郎のイシューマップ」の作成を通じて、考える機会を設けることができた。また、ワークを終えてそれで終わりということではなく、今、心の中にあるもやもやを次の行動につなげていくことが大切だと認識することができた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 他の団体さんと交流して、いろいろなワークを行っていきたい。今回のイベントで、知り合った方も今後一緒にワークしたいと言ってくださっているので、よい機会をいただけた。



団 体 名	千燈会実行委員会
代表者氏名	藤原 加奈美
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 千燈会 <u>1. 内 容</u> 加東市の女性を中心に、歴史的遺産である西国25番札所「播州清水寺」で2,000基の灯籠を、それぞれの願いを込めてろうそくに火を灯すイベント <u>2. 目 的</u> イベントを通じて加東市を知って、興味を持って足を運んでもらう。加東市の魅力を知ってもらい、再度「加東市に来よう」と思ってもらい、集客する。 <u>3. 場 所</u> 西国25番札所 播州清水寺 <u>4. 期 間</u> 令和元年7月26日(金)～28日(日)、8月26日(月) <u>5. 参加者数（来場者数）</u> 延べ 1,500人
	<u>1. 活動により生まれた効果</u> ・イベントを通じて加東市を知ってもらい、加東市の風景、歴史、史跡などの魅力を知ってもらえた。 ・加東市に集客し、活性化に貢献できた。 ・たくさんのボランティアに手伝っていただき、ボランティアさん自身に千燈会の魅力を発信してもらえた。 <u>2. 今後の取り組み予定</u> 加東市内の多くの子どもたちに点灯体験をしていただき、子どもたちの思い出や記憶に残るイベントにしていきたい。杉原紙や播州織など播州地方ならではの特産品とコラボして今後の地域活性化につなげたい。
	

参 考

令和元年度加東市まちづくり活動費補助金（応募活動分） 募集要領

1 目的

市民の皆さまが「自ら考え、行う」活動を支援することにより、より良い活動の創出を促し、地域の活性化、市民と市の協働のまちづくりに寄与することを目的とします。

2 補助メニュー

次の3コースから1コース選択し、応募してください。（応募できるのは、1コースのみです。）

コース	① 一般コース	② スタート応援コース	③ テーマ解決コース
対象活動	市内で行う、市の歴史や自然、産業、文化等の啓発、伝承を促進する活動又は地域コミュニティの推進に関する活動で、地域の活性化が図られるものを対象とします。		市が定めたテーマに基づいて行う活動を対象とします。
補助率	対象経費の60%	対象経費の100% (3年目は80%)	対象経費の100%
補助上限額	200,000 円		300,000 円
共通事項	活動は、令和元年度中（令和2年3月まで）に完了するものとし、営利目的、政治又は宗教を普及する活動、国・県・市などから補助を受ける活動は、対象外とします。		
その他	同一内容の活動は2年限りとします。	・採択された活動は、連続した3年間補助します。 (2年目以降も審査があります。3年目は、補助金額を対象経費の80%とします。) ・1年目は単一自治会内での活動を認めますが、2年目以降は範囲を自治会外までの拡大を条件とします。	同一内容の活動は2年限りとします。

3 対象団体

市内に活動拠点をもつ団体で、その代表者と構成員の半数以上が加東市民であるものを対象とします。ただし、スタート応援コースは、設立後3年以内の団体に限ります。

4 テーマ解決コースで定めるテーマ

テーマ解決コースは、以下に示す①から③のテーマについて、現状と目指す状態・将来像を踏まえて行う活動を対象とします。

①定住・移住促進、人口の維持・増加につながる活動

【現状】

少子化・晩婚化が全国的に進む中、現在、人口を維持している加東市も、将来は人口減少・少子化が予想され、その対策が必要になっています。

【目指す状態・将来像】

少子化・人口減少対策として、男女交流のきっかけづくりや、市外からの定住・移住を促す取組を通して、人口の維持・増加を目指します。

【活動例】

加東市在住・在勤の男性を対象にした男女交流パーティー
若者を対象とした就農体験 など

②交流人口の増加につながる活動

【現状】

市内には、地域の名所や歴史的な遺産、貴重な観光資源などが数多くありますが、その魅力発信やPRが不足していることから、有効に活用できていません。

【目指す状態・将来像】

地域の名所や歴史的な遺産、貴重な観光資源などを活かし、その魅力を発信し、PRすることで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指します。

【活動例】

市外の人々を対象とした加東市の歴史・名所などの魅力を紹介するツアーの実施 など
※市外の人を対象とする活動に限ります。

③男女共同参画や女性活躍の推進につながる活動

【現状】

少子高齢化の進展や人口減少が進む中で、社会の多様性と活力を高め、経済を発展していくために、男女共同参画社会の実現が課題になっています。

【目指す状態・将来像】

男女共同参画を推進することで、性別に関係なく誰もがその個性と能力を発揮できる、豊かで活力ある社会の実現を図ります。

【活動例】

女性の起業支援など女性活躍を推進する事業
女性のみで構成される団体によって開催されるイベント
男性料理教室など男性の家事参加の促進を目的とした事業 など

5 補助対象経費

＜補助対象となる支出＞	＜補助対象とならない支出＞
(1) 会議費（打合せ会等） (2) 会場使用料 (3) 消耗品費（用紙代、文房具代） (4) 印刷製本費（チラシの作成・印刷等） (5) 食糧費（上限あり） (6) 材料費（調理を行う際の食材等） (7) 賞品代（上限あり） (8) 備品代（上限あり） (9) 謝礼（講師、出演者に対するもの） (10) その他必要な経費	(1) 土地や建物（完成品）の購入費 (2) アルコール類の代金 (3) スタッフへの手当てなど、報酬として支出するもの

○上限について

- (5) 食糧費 補助金算出額の 3 分の 1 以下（単価 8 5 0 円まで）
- (7) 賞品代 補助金算出額の 2 分の 1 以下（単価 3 0 0 円まで）
- (8) 備品代 上限 2 0, 0 0 0 円（ただし、スタート応援コースは、上限 5 0, 0 0 0 円とします。）